



7月6日(水) <ISS取り組み開始宣言集会当日>
校長宣言文 原稿(当日は英語で行います。生徒の皆さんは日本語訳を参考にしてください)

Dear Dr. Yoko Shiraishi

Launch of the international Safe School (ISS) programs

I am now very pleased to announce that, upon collaboration among students, faculty members, PTA and communities, Tsuru city municipal Dai-ni Junior High School is launching the International Safe School programs to make our school safer and all people feel safe and become a member of International Safe School Network.

To fulfill the indicators as an International Safe School, we will work together as one team. We are sure that we will become more able to improve safety at the school settings for all relevant people. To meet the eight indicators, we ask the Japan institution for Safe Community for the supports. To fulfill the eight indicators, under the supervision and support by Japan Institution for Safe Communities, we will make efforts to become a member of the International Safe School Network.

Yours Sincerely,

Principal,
Tsuru Daini Junior High School

<日本語訳>
日本セーフコミュニティ推進機構代表理事
白石陽子様

インターナショナルセーフスクール (ISS) プログラムの開始について

本校、都留市立都留第二中学校が、生徒、教職員、PTA、地域と協働して、セーフコミュニティ都留とともにインターナショナルセーフコミュニティへ挑戦し、学校をより安全・安心な場所とするために、インターナショナルセーフスクール (ISS) 認証への取組を開始しますことを宣言いたします。

インターナショナルセーフスクールの指標を満たすため、生徒、教職員、PTA及び地域が一つのチームとなり、子ども達をはじめ、全ての人達にとって本校の環境をより安全なものにできると信じています。

これら8つの指標を達成するために、本校は日本セーフコミュニティ機構に指導と支援をお願いし、近い将来にはISSネットワークの一員となるべく努力いたします。

都留市立都留第二中学校校長 梶原 満 (※ 宣言文中の「8つの指標」は裏面を参照)

< ISS 活動推進の 8 つの指標 >

- ① 教師，児童・生徒・学生，事務，技術スタッフ，保護者の協働を基盤とした安全向上に取り組む運営体制が整備されている。
- ② 取り組みの方針（政策）は，セーフ・コミュニティの文脈に基づき，自治体や教育委員会等の方向性と一致している。
- ③ 長期かつ継続的に運営されるプログラムによって，両性・全ての年齢（学年），環境，状況がカバーされている。
- ④ ハイリスクのグループ，環境および弱者グループを対象とした継続的なプログラムがある。
- ⑤ 根拠（エビデンス）に基づいた取組を行っている。
- ⑥ 事故・暴力や自傷などによる外傷の原因の頻度やその原因を記録するプログラムがある。
- ⑦ 学校政策，プログラム，そのプロセス，変化による効果について評価する方法がある。
- ⑧ 地域内，国内・国際的なネットワークに継続的に参加している。